

2009年(平成21年)8月3日 月曜日

最新の治療法紹介

岡山大で不育症講演会

不妊症や、流産・死産を繰り返す「不育症」などをテーマとした講演会が2日、岡山市北区鹿田町の岡山大鹿田キャンパスであり、約80人が最新の治療法について学んだ。

医療スタッフでつくる「生殖医療サポートの会OKAYAMA」のメンバーが、科学的根拠に基づいたフランスの良い食事の摂

取が、不妊防止の一つとして大切と強調。県不妊専門相談センターの担当者が、公的機関や病院に設けられた相談窓口の積極的な活用を訴えた。

岡山大学院の中塚幹也教授は、血液の流れが悪くなることで流産を繰り返す患者に対

不妊症や不育症などをテーマとした講演会

し、アスピリンなどの一介し、「不育症の女性投与によって血が固まるのを防ぐ治療法を紹介は幾つものハードルがあるが、適切な医療を受けられるかどうか重要」と指摘した。

講演会は、岡山大病院内に開設されている県不妊専門相談センターなどが主催し、今年が5回目。

(河内慎太郎)

